

# 第5学年〇組 外国語科学習指導案

日 時：令和5年〇月〇日（〇）第〇校時  
 場 所：〇年〇組教室  
 授業者：〇〇 〇〇  
 ALT：〇〇 〇〇

## 1. 単元名 Unit 5 Where is the post office? 場所をたずねたり答えたりしよう 『NEW HORIZON Elementary English Course 5』

### 2. 単元について

#### (1) 教材観

本単元では、自分の知りたい場所や位置を尋ねたり、相手を案内したりすることを目標としている。また、位置関係を示す by、in、on、under の前置詞についても理解を深める。前置詞は、絵の中から物の位置を聞き取って〇で囲んだり、実際に具体物を操作したり、友達の部屋をコーディネートしたりすることで理解しやすい言語材料である。道案内では、Word Link で慣れ親しんだ語句や Let' s Sing や Let' s Chant の表現を手掛かりにやり取りを聞いたり、練習をしたり児童同士がロールプレイしやすいと考える。それをもとに実際に児童同士でロールプレイを行う。様々な場所への行き方を尋ねたり、答えたりすることで、語彙や表現が定着しやすくなる。最後に「本場ハワイの土地で道案内に挑戦しよう」というテーマのもと、道案内の活動を行う。児童一人一人が相手意識を持って積極的にコミュニケーションを図り、Where is~? の実用性やコミュニケーションを取ることの楽しさを感じられる教材である。

言語材料：“Where is~?” “Go straight for ~ block(s).” “Turn right/left at the~corner.” “You can see it on your right/left.” およびその関連語句など

#### (2) 児童の実態について

【児童の意識調査】 調査年月日：令和5年 6月 1日（木） 調査人数：〇人

##### ① 外国語の学習は楽しいですか。

楽しい	少し楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
78%	15%	7%	0%

##### ② 外国語の学習の進め方を知っていますか。

知っている	少し知っている人	あまり知らない	知らない
3%	56%	41%	0%

##### ③ 友だちや先生と外国語で会話することは楽しいですか。

楽しい	少し楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
91%	2%	7%	0%

##### ④ 外国語の時間で友達のことをよく知れましたか。

知れた	少し知れた	あまり知れなかった	知れなかった
67%	33%	0%	0%

##### ⑤ 前よりも外国語の学習が分かるようになりましたか。

なった	少しなった	あまりなっていない	なっていない
75%	15%	10%	0%

##### ⑥ 英語を話せるようになりたいですか。

なりたい	少しなりたい	あまりなりたくない	なりたくない
75%	22%	3%	0%

##### ⑦ 英語を聞きとれるようになりたいですか。

なりたい	少しなりたい	あまりなりたくない	なりたくない
93%	7%	0%	0%

⑧ 英語を書けるようになりたいですか。

なりたい	少しなりたい	あまりなりたくない	なりたくない
96%	4%	0%	0%

⑨ 英語を読めるようになりたいですか。

なりたい	少しなりたい	あまりなりたくない	なりたくない
93%	7%	0%	0%

⑩ 英語で話しかけられたらどうしますか。

知っている英語で対応する	日本語で対応する	だまっている	その他
96%	4%	0%	0%

本学級の児童は、明るく授業態度も大変意欲的である。思いついたことを伝えたいという意欲をもつ児童が多く、常にどの授業でも活発な意見交換をすることができる。外国語の時間には、「Small Talk」や ALT の質問にも積極的に手を挙げて発言する様子が見られる。しかしながら、6月に実施したアンケート結果では、「外国語の授業が好きですか」という質問に、「あまり楽しくない」と答えた児童がおり、意欲的な児童が多い反面、インプットが不足しているのが話すことに対しては消極的な児童が見られる。外国語の授業に対して不安がある児童もいることが分かる。また、「英語を書けるようになりたい、読めるようになりたい」という質問に 90%以上の児童が肯定的な回答をしており、本学級の児童は読み書きにも興味があることが分かった。また、「英語を話せるようになりたい」と思っている児童は、「読みたい、書きたい」という思いより低いという結果がでている。「英語で話しかけられたらどうしますか」という問いに対して、ほぼ全員の児童が、知っている英語で対応すると答えたことから、児童は英語に対して必要感を感じ、学習に対しても肯定的なことが分かった。

### (3) 指導観

本単元の指導に当たっては、本学級の児童の様子を踏まえ、次の点に配慮しながら授業を進めていく。

①単元のゴールを明確にしてから、単元末から第1時へ逆向きに授業プランを作る。

まずは、単元の最終目標のイメージを明確にし、単元末から第1時へと逆向きに授業プランを作り、1時間ごとの目標と中心活動を定める。そのため、一番大切にしたいのは、第1時の Our Goal の設定である。単元の最後にどのような活動をするのか、イメージをもたせることで、学習内容の目的が明確になり、1回1回の授業の学習内容に、より必然性を感じさせることができる。また、1時間ごとの目標と中心活動を定めることで、学習を通してどのようなことができるようになるか見通しを持たせ、単元末には、児童が自分自身の変容を感じるよう指導していきたい。

②「目的や場面、状況等」を意識させる「支援」としての問いかけを行う。

本単元では、研究課題の「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり」に迫るために、児童が言いたくなる・たずねたくなる場面の設定をまず行う。外国語の時間には、自分の思いを正しい話型ではなくても「伝えたい」「言いたい」という思いを受け止め、単語だけ、または知っているフレーズだけでも答えられたことをほめる、ということを繰り返し授業の中で行うようにする。やり取りをする際には、その時の自分の気持ちも伝え合わせるようにする。決められた順序で話すだけでなく、共感するあいづちを使うことも大切であるということを確認し、会話の中で積極的に使えるようにさせる。相手の発言を繰り返したり、道案内が一度でよく分からなかった場合は「One more time, please!」といった表現を使ったりすることで、英語のやり取りを楽しんでできるようにさせたい。そして、お互いの考えや道案内が伝わることの楽しさや喜びを実感させたい。ペアやグループの中で紹介し合い、聞く人の反応を受けて話す工夫など、他者に配慮してやり取りができるように指導する。

③授業時間外での英語を使う「Teacher's Quiz」の活用

授業の最終目標に近づくために必要な英語表現を、授業時間以外で使える工夫として、「Teacher's Quiz」という休み時間に学校の先生方に英語で質問に行く活動を行っている。学習した表現や文法を目にする機会を多く設けることで、外国語の時間に自信を持って答えられる児童を増やすとともに、苦手意識をなくし、児童の興味関心を引きながら、英語好きな児童を育てられるようにしていくため、本校全職員の協力のもと行っている。授業時間以外の英語でのコミュニケーション活動を取り入れることで、英語でのコミュニケーションの機会も増える。また身近な先生との英語での会話は、生きた英語のコミュニケーションとなり、より児童の関心意欲を引き出している。さらにグループで質問に行かせることで、英語を話すことを苦手としている児童でも気軽に聞くことができたり、他の児童の様子を見て挑戦したりする姿が見られた。それらの話す活動の積み重ねを継続することにより、授業で行う言語活動をより豊かな活動にすることができ、児童の主体的・対話的で深い学びとなっている。

### 3. 研究主題との関わり

令和5年度西部地区学力向上のための授業研究会研究課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

研究の視点

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり  
～各教科の「見方・考え方」を働かせた学習活動の充実～

研究課題解決のための仮説と手立て

仮説Ⅰ 基礎基本の定着を図り、1人1人の児童に学ぶことの楽しさや意義を実感させることで、思考の基礎となる力が身に付くであろう。

- 手立て① バックワードデザインを意識した単元計画を作成し、どのパートでは何を重視すればいいのか、外国語のコミュニケーションにおける見方・考え方を意識した越生小スタンダードを共有する。
- 手立て② 1時間毎に学習するべき話型の習熟を繰り返し行う。それを積み重ねていき、単元後半に学習内容を活用した会話ができるようにし、達成感を味わわせる。
- 手立て③ 外国語の時間に限らず生活の中で外国語を発することができるように、休み時間を使つての「Teacher's Quiz」の取組を行う。
- 手立て④ あいさつやリアクション例など、日常的に使える語句や文例を学校の階段に掲示することで、英語を目にする機会を増やす。

仮説Ⅱ 学習過程の中に「インプット」「練習」「アウトプット」「広げる」の場面を設定すれば、思考力・判断力・表現力等を高めることができるだろう。

- 手立て① スモールトークを通して、学習のめあてを明確にさせ、見通しを持たせる。
- 手立て② 相手意識を持ちながら、単元後半の発表、アウトプットの場面での活動内容を充実させる。
- 手立て③ 授業後の「振り返り」を共有させ、振り返りの質を高める。

仮説Ⅲ 学習過程の中で各教科の活動を充実させることで、思考力・判断力・表現力を高めることができるだろう。

- 手立て① 児童と関わるときに、児童に外国語を使った答えを求めてみたり、教科領域を問わず児童の表現に対する教師の反応を外国語を活用した表現にしてみたりすることで、外国語に触れる機会や外国語を使ったコミュニケーションの機会を増やす。
- 手立て② ペアやグループでの対話による「学び合い」の時間を意図的に設け、関わり合いによる協働的な学習を充実させる。ペアやグループで、状況や場面に応じた自分の考えを伝え合う活動を取り入れ、自分の気持ちや考えが伝わる楽しさを味わわせるようにする。
- 手立て③ 相手意識を持ち、誰かに伝える、という目的を持たせて行わせる。
- 手立て④ 「道案内の表現」を段階的にインプットし、児童が自信を持って自分の考えを表現できるようにする。

#### 4. 単元の目標

- ・物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句を書き表すことができる。アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。  
〈知識及び技能〉
- ・道案内で、場所を尋ねたり答えたり、簡単な語句を推測しながら読みだりする。  
〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・他者に配慮しながら、場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとする。  
〈学びに向かう力、人間性等〉

#### 5. 単元の評価規準

(本単元における「読むこと」「書くこと」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない)

	聞くこと聞	読むこと読	話すこと やりとりや	書くこと書
知識・技能	<p>〈知識〉 ①前述の言語材料について理解している。 〈技能〉 ②場所や位置の尋ね方や答え方などについて、聞き取ることができる。</p>	<p>〈知識〉 ①アルファベットの活字体の大文字・小文字について、理解している。 〈技能〉 ②アルファベットの活字体の大文字・小文字を識別したり、その名前を発音したりする技能を身に付けている。</p>	<p>〈知識〉 ①前述の言語材料について、理解している。 〈技能〉 ②地域の身近な人の職業やできることなどについて、前述の言語材料を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>〈知識〉 ①アルファベットの活字体の大文字・小文字について、理解している。 〈技能〉 ②アルファベットの活字体の大文字・小文字を書く技能を身に付けている。</p>
思考・判断・表現	<p>① [自分の知りたい場所や位置を尋ねたり、相手を案内したりするために、場所や位置の尋ね方や答え方など] について、短い話の概要を捉えている。</p>		<p>① [同左] について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合っている。</p>	
主体的に学習に取り組む態度	<p>① [同上] について、短い話の概要を捉えようとしている。 ②外国語の背景にある文化に対する理解を深めるために、日本在住の外国出身の人について、短い話の概要を捉えようとしている。</p>		<p>① [同上] について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合おうとしている。 ②ピクトグラムでの地域紹介について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合おうとしている。</p>	

6. 単元計画 (8時間扱い)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】、○)	評価			
		知	思	態	◎評価規準
1	◆探し物がどこにあるのかをたずねる表現を知る				※本時では、目標に向けての指導は行いが、記録に残す評価は行わない
	○【Let' s Sing】Excuse me. p.47 ○【Small Talk】 ・教科書の地図記号についてのスモールトークをする。 ・ハワイの地図記号ってあるのかな？ ・日本と異なる地図記号に注目させる。 ・ハワイの建物の写真を見て、何の建物かを当てる。 ○【Our Goal】 Eric の地元ハワイの町で道案内に挑戦しよう！ ○【Starting Out】 p.46-47 ○【Let' s Chant】Go straight. p.47 ○【Sounds and Letters】 p.93				
2	◆探し物がどこにあるかを尋ねる表現を使い、身の回りの物の位置の言い方に慣れ親しむ				◎自分の知りたい場所や位置を尋ねたり、相手を案内したりするために、場所や位置の尋ね方や答え方などについて、短い話の概要を捉えようとしている。 (行動観察・振り返りシート)
	○【Let' s Sing】Excuse me. p.47 ○【Let' s Chant】Go straight. p.47 ○【Small Talk】 →on in under by を使ったスモールトーク ○【Today' s Goal】 身の回りの物の位置の言い方を知ろう！ ○Eric ゲームに挑戦！ この建物何だろうクイズ ○【Let' s Try②】 p.47 ・ペアになって探し物がどこにあるのかを尋ねあう。 ○【Sounds and Letters】 p.94 アクセント⑤	聞 ①	聞 ①		
3 (本時)	◆探し物がどこにあるかを尋ねたり、位置関係を表す語を使ったりするやりとりのおおよその内容を理解する。				◎場所や位置の尋ね方や答え方などについて、聞き取ることができている。 (行動観察・振り返りカード) ◎自分の知りたい場所や位置を尋ねたり、相手を案内したりするために、場所や位置の尋ね方や答え方などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合っている。
	○【Let' s sing】Excuse me p.47 ○【Today' s Goal】 物の位置の言い方を使って、部屋当てクイズをしよう ○【Let' s Listen①】 p.48 ・音声を聞いて、探し物に○をつける。 ○友達の部屋はどれでしょうクイズ ○Eric クイズに挑戦！ ～この建物何だろうクイズ～ ○【Sounds and Letters】	聞 ②	や ①		
4	◆探し物がどこにあるかを尋ね合ったり、道案内をしたりする。				◎自分の知りたい場所や位置を尋ねたり、相手を案内したりするために、場所や位置の尋ね方や答え方などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合っている。 (行動観察)
	○【Let' s Sing】Excuse me p.47 ○【Let' s Chant】Turn right. p.47 ○【Small Talk】 Where is～?を紹介するスモールトーク ○【Today' s Goal】 方向や場所を尋ねたり、答えたりする言い方を知ろう ○【Let' s Listen②】 ○【Let' s Try ④】 ○Eric ゲームに挑戦！ この建物何だろうクイズ ○【Sounds and Letters】	や ②	や ①		

5	<p>◆道案内の仕方や建物の言い方を知り、道を尋ねたり、答えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Small Talk：道案内のスマールトーク型のモデルを見せる。</li> <li>○ 【Let' s Sing】 Excuse me p.47 【Let' s Chant】 Go straight p.47 【Let' s Chant】 Turn right p.47</li> <li>○ 【Today' s Goal】 地図を使って道案内をしてみよう</li> <li>○ 【Sounds and Letters】 p.94 アクセント⑥</li> </ul>	や ①	や ①	◎自分の知りたい場所や位置を尋ねたり、相手を案内したりするために、場所や位置の尋ね方や答え方などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合っている。(行動観察・振り返りシート)
6	<p>◆体育館をハワイの町に見立て、ハワイの町で道案内をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 【Let' s Sing】 Excuse me p.47 【Let' s Chant】 Go straight p.47 【Let' s Chant】 Turn right p.47</li> <li>○ 【Today' s Goal】 本物のハワイの地図を体育館に作り、Eric の地元ハワイの町で道案内のミッションに挑戦しよう！</li> </ul>		や ①	◎自分の知りたい場所や位置を尋ねたり、相手を案内したりするために、場所や位置の尋ね方や答え方などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合ったり、合おうとしている。(行動観察・振り返りシート)
7	<p>◆世界の地図や標識について考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 【Let' s Sing】 Excuse me p.47 【Let' s Chant】 Go straight p.47 【Let' s Chant】 Turn right p.47</li> <li>○ 【Today' s Goal】 色々な国の地図や標識について理解を深めよう。</li> <li>○ 【Do you know?】 【Challenge】</li> </ul>	聞 ①	や ②	◎ピクトグラムでの地域紹介について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
8	<p>◆英語と日本語との違いを知り、世界と日本の文化に対する理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 【Let' s Sing】 Excuse me p.47 【Let' s Chant】 Go straight p.47 【Let' s Chant】 Turn right p.47</li> <li>○ 【Today' s Goal】 世界と日本の文化に対する理解を深めよう。</li> <li>○ 【ことば探検】 【日本のすてき】 【Sounds and Letters】</li> </ul>		聞 ②	◎外国語の背景にある文化に対する理解を深めるために、日本在住の外国出身の人について、短い話の概要を捉えようとしている。(行動観察・振り返りカード点検)

## 7. 本時の展開 (3/8時)

- (1) 目標 探しものがどこにあるのかたずね合おう。
- (2) 主な表現 Where is ~? It' s by/in/on/under ~. など
- (3) 準備 指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー (PD)、ピクチャーカード、タブレット、振り返りシート
- (4) 本時の展開

時間	児童の活動	指導者の活動と使用英語例	指導上の留意点・評価 (○留意点 ◆評価)
導入 7分	1 Greeting  2 Let' s Sing Excuse me  3 Small Talk ・指導者からの質問に「It' s by/in/on/under~.」で答える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日にち、天気、時間などについて英語でやり取りをする。</li> <li>・一度曲を流し、内容について質問する。</li> <li>・児童が聞き取れた英語の確認をする。</li> <li>・一緒に歌う。</li> <li>・既習表現を使い、本単元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明るい雰囲気をつくるために、笑顔で挨拶をする。</li> <li>○テレビ画面に歌の映像を映し確認する。</li> <li>○HRTとALTが、既習語句や表現を用い繰り返し・コメント・質問をする等のやり取りをモデルで示す。</li> </ul>
展開 30分	4 Today' s Goal ・Our Goalの確認をし、本時のめあてを知る。  5 Word Link ・pp.26-27「位置」の単語を復唱する。 ・「部屋にあるもの」の単語を復唱する。  6 Let' s Listen① ・音声を聞いて、探し物に○をつける。 ・答え合わせをする。  7 友達の部屋はどれだ？  8 Ericクイズに挑戦 ・ハワイの建物の写真を見て、何の建物かを当てる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">物の位置の言い方を使って、部屋当てクイズをしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあて・振り返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見直しをもてるようにする。</li> <li>・pp.26-27を見ながら、位置の確認をさせる。</li> <li>・音声を使って、「部屋にあるもの」「位置」の単語を復唱しながら確認できるようにする。</li> <li>・音声を流して、話されている探しものに○をつけるよう伝える。</li> <li>・出てきた単語について適宜問答しながら、児童が飽きないように、発音練習をリードする。</li> <li>・Where is the ~? It' s on/in/under/by the ~. のやりとりを繰り返し、数ある部屋の絵の中から、友達がどの部屋のことを言っているのかを当てさせる。</li> <li>・ハワイの建物クイズを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不安な児童には、PDのp.23「位置」を参照させる。</li> <li>○単語に慣れ親しむために、声に出して発音し、ジャエスチャーを交えて行う。</li> <li>○量が多いので、「Let' s Listen① p.48」で使用する単語にしぼる。</li> <li>◆場所や位置の尋ね方や答え方などについて、聞き取ることができる。【知・技】聞②〈行動観察・発表観察〉</li> <li>○教科書を使って、前置詞を確認し、部屋当てクイズへの意欲をもたせる。</li> <li>◆自分の知りたい場所や位置を尋ねたり、相手を案内したりするために、場所や位置の尋ね方や答え方などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合っている。 【思】や①〈行動観察・ワークシート〉</li> </ul>

文字指導 5分	9 Sounds and Letters	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットチャートで文字の名前と音を確認する。</li> <li>・指導者が選んだ3文字の名前を言い、気持ちを書き取るよう伝える。</li> <li>・必要に応じて、繰り返し聞かせる。</li> </ul>	◆複数の小文字の名前を聞き取り、書くことができる。
まとめ 3分	10 振り返りをする。 ・本時を振り返り、コミュニケーションの取り方や言語に関することで気付いたこと等を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに照らして、児童の向上したことや学び方の良さを確認、実感できるように称賛する。</li> <li>・児童が挙げた気付きに価値づけを行う。</li> </ul>	○児童が分かった表現や考えたこと、これからできるようになりたいことなどを表現させるようにする。
	<p>〈目指す児童の振り返りの例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所などの聞き方が分かった。</li> <li>・場所を表す言葉が混ざってしまうのでしっかり使い分けられるようになりたい。 など</li> </ul>		
	11 Greeting	・挨拶をする。	

### (5) 板書計画

言葉 ジェスチャー コミュニケーション	Mon. Oct. 2 <sup>nd</sup>	Our Goal Eric 先生の地元ハワイの町で道案内に挑戦しよう
		Today's Goal 物の位置の言い方を使って、部屋当てクイズをしよう
Let's Sing	必要な英語表現	Excuse me ×2
Let's Chant		Where is ~
Word Link		Go straight for
Let's Try 3		Turn R/L
Eric Quiz		It's on your R/L
S and L		Thank you ~
部屋当てクイズのポスター		

8. 備考 在籍児童数：○人